



## 2022年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <https://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 雄太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	7,292	28.7	1,234	107.9	1,247	55.7	844	59.2
2021年12月期第3四半期	5,666	4.5	593	14.2	801	31.8	530	17.5

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 854百万円 (59.8%) 2021年12月期第3四半期 534百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	123.86	
2021年12月期第3四半期	77.78	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第3四半期	9,439	7,518	79.7	1,102.46
2021年12月期	9,398	7,080	75.3	1,038.22

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 7,518百万円 2021年12月期 7,080百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		25.00		31.00	56.00
2022年12月期		30.00			
2022年12月期(予想)				28.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,902	6.3	1,325	26.7	1,320	4.4	872	5.3	127.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	6,924,400 株	2021年12月期	6,924,400 株
期末自己株式数	2022年12月期3Q	104,344 株	2021年12月期	104,214 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	6,820,129 株	2021年12月期3Q	6,820,204 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限が緩和されたことにより、緩やかな持ち直しの動きがみられました。一方で、ロシアによるウクライナへの侵攻の長期化、原油をはじめとする資源価格や原材料価格の高騰、急激な円安の進行等、先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。

このような環境のもと当社グループでは前連結会計年度から引き続きテレワークの実施やソーシャル・ディスタンスの確保、TV会議の活用といった感染防止策を講じつつ事業活動を行っております。

当社グループは、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム事業の3つの事業を展開し、各事業のノウハウを結集することで、取引先企業における製品開発から試験・解析、製造、販売、サービス保守に至るまでの全工程をサポートしております。また、長年の取引実績を持つ自動車業界をはじめ、FA機器、産業機器、医療機器、情報家電、教育関連など様々な業界に向けてサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間の業績におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により抑制されていた経済活動や投資活動が回復基調となってきたことから、増収増益となりました。

具体的な業績は次のとおりであります。

売上高	7,292百万円	(前年同期比28.7%増)
営業利益	1,234百万円	( 同上 107.9%増)
経常利益	1,247百万円	( 同上 55.7%増)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	844百万円	( 同上 59.2%増)

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。(各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。)

#### (ドキュメンテーション事業)

売上高は2,214百万円(前年同期比6.7%増)となり、エンジニアリング事業、技術システム事業と比して増収率は相対的に低くとどまっておりますが、稼働率が回復したことにより作業効率も向上したため、営業利益は671百万円(同20.5%増)となり増収増益となりました。

#### (エンジニアリング事業)

前連結会計年度の第4四半期から引き続いて教育関係の受注が好調だったことにより、売上高1,832百万円(前年同期比55.0%増)、営業利益493百万円(同86.9%増)の増収増益となりました。

#### (技術システム事業)

前連結会計年度は、コロナ禍による先行き不透明感から取引先企業において投資が抑制されておりましたが、その抑制が緩和されてきたことなどから、ITインフラ案件やシステム開発案件の受注が増加し、売上高3,283百万円(前年同期比33.9%増)、営業利益554百万円(同134.5%増)の増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は9,439百万円であり、前連結会計年度末より40百万円増加しております。内訳は、流動資産が34百万円増加の6,108百万円、固定資産が5百万円増加の3,330百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で448百万円、仕掛品で32百万円の増加があった一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」(前連結会計年度の科目は「受取手形及び売掛金」)で377百万円、電子記録債権で72百万円の減少があったこと等であります。

#### (負債)

負債は前連結会計年度末より397百万円減少し、1,920百万円となりました。負債の減少の主な要因は、賞与引当金で235百万円増加した一方、短期借入金で480百万円、未払金で104百万円減少したことにより、流動負債が398百万円減少したこと等であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は7,518百万円であり、前連結会計年度末より438百万円増加しております。

す。その要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益844百万円を計上したことと配当金を416百万円支払ったことにより、利益剰余金が428百万円増加したこと等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今般の新型コロナウイルス感染症の流行による影響が不透明であることから、2022年2月14日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりませんが、当該感染症の流行が当社グループの業績に及ぼす影響については、今後も注視してまいります。業績予想の修正が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,540,641	2,989,501
受取手形及び売掛金	2,683,412	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,306,282
電子記録債権	281,077	209,070
商品及び製品	51,011	47,531
仕掛品	265,715	298,662
原材料及び貯蔵品	13,395	12,549
その他	243,323	249,606
貸倒引当金	△4,378	△4,468
流動資産合計	6,074,199	6,108,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,608,828	1,549,082
土地	945,794	945,794
その他(純額)	130,822	140,367
有形固定資産合計	2,685,444	2,635,243
無形固定資産		
のれん	133,237	111,030
その他	68,309	70,672
無形固定資産合計	201,546	181,703
投資その他の資産		
その他	440,655	516,485
貸倒引当金	△2,850	△2,850
投資その他の資産合計	437,805	513,635
固定資産合計	3,324,797	3,330,582
資産合計	9,398,997	9,439,318
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	281,669	255,933
短期借入金	750,000	270,000
未払金	348,205	243,703
未払法人税等	273,661	245,444
未払消費税等	117,331	205,756
賞与引当金	164,706	400,326
受注損失引当金	265	206
製品保証引当金	10,527	11,646
その他	359,578	274,261
流動負債合計	2,305,945	1,907,278
固定負債		
退職給付に係る負債	7,721	8,550
資産除去債務	4,443	4,443
その他	—	152
固定負債合計	12,165	13,146
負債合計	2,318,110	1,920,424

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	4,996,795	5,425,550
自己株式	△25,685	△25,930
株主資本合計	7,083,205	7,511,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,933	3,119
為替換算調整勘定	2,615	4,057
その他の包括利益累計額合計	△2,318	7,177
純資産合計	7,080,886	7,518,893
負債純資産合計	9,398,997	9,439,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,666,042	7,292,234
売上原価	3,918,831	4,825,188
売上総利益	1,747,210	2,467,045
販売費及び一般管理費	1,153,548	1,232,719
営業利益	593,661	1,234,326
営業外収益		
受取利息	23	26
受取配当金	861	2,209
為替差益	—	2,190
確定拠出年金返還金	786	233
売電収入	1,896	2,030
助成金収入	209,778	11,910
その他	3,477	3,484
営業外収益合計	216,825	22,084
営業外費用		
支払利息	1,518	2,101
支払融資手数料	5,119	5,130
為替差損	775	—
減価償却費	1,533	1,352
その他	314	407
営業外費用合計	9,261	8,991
経常利益	801,225	1,247,418
特別利益		
固定資産売却益	7,942	727
特別利益合計	7,942	727
特別損失		
固定資産除却損	3,062	481
特別損失合計	3,062	481
税金等調整前四半期純利益	806,106	1,247,664
法人税、住民税及び事業税	329,830	473,120
法人税等調整額	△54,260	△70,240
法人税等合計	275,570	402,880
四半期純利益	530,535	844,783
親会社株主に帰属する四半期純利益	530,535	844,783



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	530,535	844,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,898	8,053
為替換算調整勘定	110	1,442
その他の包括利益合計	4,009	9,495
四半期包括利益	534,544	854,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534,544	854,279
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,074,660	1,168,767	2,422,614	5,666,042	—	5,666,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	375	13,270	29,642	43,287	(43,287)	—
計	2,075,035	1,182,037	2,452,256	5,709,330	(43,287)	5,666,042
セグメント利益	557,549	264,151	236,605	1,058,305	(464,644)	593,661

(注) 1. セグメント利益調整額△464,644千円には、セグメント間取引消去7,265千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△471,909千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,214,009	1,830,828	3,247,395	7,292,234	—	7,292,234
セグメント間の内部売上高又は振替高	441	1,544	35,952	37,939	(37,939)	—
計	2,214,451	1,832,373	3,283,348	7,330,173	(37,939)	7,292,234
セグメント利益	671,692	493,756	554,822	1,720,271	(485,944)	1,234,326

(注) 1. セグメント利益調整額△485,944千円には、セグメント間取引消去6,280千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△492,225千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。